

一筆啓上

作左通信



第四十二号 平成二十年十月二十三日発行

作左ゆかりの地見学の旅

平成二十年九月六日 土曜日、快晴。どちらかといえば残暑の
厳しい日でした。

この日、年度当初より計画していた「本多作左衛門ゆかりの地
を訪ねる旅」を実施しました。参加者三十七名。

旅程計画は、会員で、『一筆啓上 家康と鬼の作左衛門』の著者
である横山 茂さんと顧問の宮地中総代の畔柳伽乙留さんがして
くれました（下図参照）。

はじめに、徳川発祥の地豊田市の松平東照宮とそれに隣接する
松平氏の菩提寺である高月院を訪ねました。

初めて訪れた人の中には、「こんな山村にこのような風情のある
場所があったとは！」「秋に来るときつと素晴らしいでしょうネ」
などと感嘆の声をあげる人もいました。

青空高くそびえる松平（徳川）氏の始祖親氏の銅像は、や、
日本人離れしていて、周囲の様子や徳川家にいづく感懐とはや、
不釣り合いな感じがいたしました。

松平からは高速に乗り、館山寺のレストピア山崎で昼食を取り、
浜松城を訪れました。

浜松城には作左曲輪（くるわ）というのがあり、これを本多作
左衛門が構築したと言われています。曲輪とは城やとりでを石
や土で囲んだところです。

行程表

岡崎＝松平太郎左衛門・松平東照宮・高月院＝豊田松平 IC
＝浜松西 IC＝レストピア山崎(昼食)＝浜松城（浜松城作左
曲輪跡石碑）＝浜松西 IC＝浜名湖 SA＝岡崎 IC＝岡崎



一行は、その後航空自衛隊のテーマパークを満喫し、浜松西イ
ンター近くの海産物店で土産物のショッピングをして、充実した
旅の思いを乗せて、一路岡崎へと帰って参りました。

（文責 市川）